

平成30年度

# 白井市内公民館等 事業計画

西白井公民館

白井駅前公民館

桜台公民館

学習等供用施設

青少年女性センター

## 平成30年度公民館等事業計画 目次

西白井公民館	P 1
白井駅前公民館	P 4
桜台公民館	P 7
学習等供用施設	P 10
青少年女性センター	P 13

# 平成30年度 西白井公民館 事業計画

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）  
「ときめきと みどりあふれる 快活都市」
- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）
  - 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」
    - ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
    - ・子育てしたくなるまちづくり
  - 戦略2 「みどり活用プロジェクト」
    - ・みどりが価値を生み出すまちづくり
    - ・みどりがつながるまちづくり
  - 戦略3 「拠点創造プロジェクト」
    - ・地域拠点がにぎわうまちづくり
    - ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・少子化：①核家族化、働く親の孤立化、不安 ②若者の定住
- ・高齢化：①後継者問題 ②高齢者の引きこもり、孤立化
- ・無関心：①住民参加の少なさ ②白井の魅力に気づいていない

白井の魅力ある資源に気づいてもらえるきっかけをつくる事、また、人材を発掘し活躍してもらえる場を設ける事が解決の糸口になる。

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・固定化した利用者が多く、新しい層、特に働く若い世代の利用が少ない
- ・地域の連携を強める働きかけや協力体制を強化すること
- ・多くの利用者に対応するために業務能力、作業効率を高める

## 2. 運営方針

### 平成30年度 西白井公民館 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

- ・地域の声を拾い、人材・資源を掘り起し、住民の豊かな関係性を築くよう努める。
- ・地域の人と人とを結び付け、にぎわいと活力を広げる。
- ・住民が学びあい、交流しあい、連帯しながら地域をつくる主体となっている実感を持てる場としていく。

## (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①親子のコミュニケーションを深める方法を学ぶ。 ②子育ての不安を解消し、安心していただける場所を提供する。 ③同世代の保護者同士の交友関係を広げる環境をつくる。
青少年教育 (2)	①性質の異なった人たちとの交流から、個性を認め合う人物となる。 ②学習・活動を通して、技術と学ぶことそのものの楽しさを実感する。 ③各活動を通して、豊かな体験・経験を重ねる。
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する。 ②体力・精神力を向上させ、豊かな社会生活を送れるようにする。 ③学びを実践にいかし、地域のリーダーとなる人物を育てる。
団体育成 (4)	①自ら得た学びを地域で発揮して、新たなメンバーを増やす。 ②地域に出て、人や地域とつながる核となる人材を育成する。

## (3) 平成30年度 特に重点的に実施していく項目（分野や事業など）

白井が持続可能なまちであるよう、これからの白井を担っていく人材、及び活動団体を発掘し、活動を支援する。特に若い世代の利用・参加を増やし、地域づくりにも関心を持ってもらい主体的に参加する支援をしていく。

## 3. 西白井公民館 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	参加人数	
家庭教育 (1)	おやこ広場		①・②・③	10回	15人
	プレ親子体操		①・②・③	10回	24人
青少年教育 (2)	キッズクラブ		①・②・③	8回	15人
	親子で！科学 体験教室	低学年	②・③	6回	30人
		高学年	②・③	6回	30人
	レッツクッキ ング	親子	②・③	2回	24人
		小学生	①・②・③	1回	12人
	アートで遊ぼう！		①・②・③	4回	10人
	子ども将棋教室		①・②	10回	30人
	習字教室		②・③	1回	20人
パークッション講座		①・②・③	4回	20人	
成人教育 (3)	ウォーキング講座		①・②	4回	20人
	男女共同参画講座		①・③	2回	20人

	スマートフォン講座	①	4回	10人
	エプロン倶楽部	①・③	3回	12人
	健康料理教室	①・③	2回	16人
	シニアヨガ教室	①・②・③	1回	15人
	白井ネクスト5・10	①・②・③	4回	12人
団体育成 (4)	手しごと倶楽部	①・②	6回	10人
	お菓子教室	①・②	5回	12人
	チョークアート講座	①・②	4回	10人

## (2) 講座以外に行う事業

公民館利用者連絡協議会  
 多目的室利用団体協議会  
 サロン開催支援  
 にしふくマルシェ  
 学習支援事業  
 ともしびの夕べ in 白井 (3月)  
 ロビーコンサート・ロビー展示 (毎月)  
 センターまつり (12月)  
 子ども映画会・懐かしの映画会

## (3) 情報の提供

ポスター掲示 (自館・他館)  
 広報しろいへの掲載  
 ホームページへの掲載  
 ブログへの掲載  
 ミニコミ誌の活用

## (4) 施設の提供

生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出  
 地域交流の場として、ロビーの貸出 (作品等の展示)  
 多世代交流の場として、ロビー等の貸出  
 サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出

# 平成30年度 白井駅前公民館 事業計画

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

### 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

### 戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 地域の課題

高齢化の進行や一人親家庭の増加による子どもの貧困の拡大など若年層から高齢者までの社会的な孤立など、地域において何らかの支援が必要な人が増加している。家族で支える力が低下する中で、地域で支え合うしくみを構築していく必要がある。また、大きな担い手となる若者の公民館利用が少なく、連携が図れていない。

## 2. 運営方針

平成30年度 白井駅前公民館 運営方針

### (1) 全体の運営方針

子どもから高齢者まで多様な世代が集い学ぶことをきっかけに、関係をつくり、顔の見える関係を築くなかで、孤立化を防ぎ、災害時などにも支え合える地域づくり・まちづくりを進める。地域の小中高学校とも連携を図り、子どもたちの社会参加を促進し、活躍のできる場を提供していく。

### (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①若い保護者への子育て支援を行い、地域全体で子育てを支えるしくみをつくる。 ②同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、安心して子育てできる環境をつくる。

青少年教育 (2)	①学年・学区の異なる子どもたちの交流を図る。 ②学習、体験、活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。 ③講座を通して社会に目を向け、視野を広げる。 ④児童・生徒一人一人に向き合い、学力向上、心の成長を助ける。
成人教育 (3)	①生涯学習の楽しさや意義を学ぶ。 ②講座を通して（世代間）交流を図る。 ③みどりを守り育み、地域に愛着と誇りを持つ。 ④ひきこもり状態にある若者と、その家族の社会参加支援。
団体育成 (4)	①学習成果を通して地域の活性化につなげる。 ②自らが得た技術を地域に提供することで団体活動の活力にする。

### (3) 平成30年度 重点的に実施していく項目

地域の貴重な人財として、市民の多様な力を活かし、地域コミュニティの拠点となるよう進める。市民同士で支え合えるよう新たな担い手を育てていく。

## 3. 白井駅前公民館 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	募集人数
家庭教育 (1)	ベイビータイム (定期講座・児童館共催)	①・②	10回	15組 30人
	チビちゃんポケット (定期講座・児童館共催)	①・②	7回	15組 30人
	子育てサロン (定期講座・児童館共催)	①・②	3回	10人
	なかよしタイム (定期講座・児童館共催)	①・②	3回	一人
青少年教育 (2)	トライアカデミー ～ものづくり教室～ (定期講座・児童館・憩いの家共催)	①・②	10回	20人
	音楽ワークショップ (定期講座・児童館共催)	①・②・③	1回	一人
	学習支援～宿題クラブ～ (定期講座・児童館・憩いの家共催)	②・④	4回	10人
成人教育 (3)	バンドチャレンジ講座 (定期講座・児童館・憩いの家共催)	①・②	3回	一人
	ひきこもり支援～ハート～ (定期講座)	④	9回	一人

	歴史講座 (定期講座・憩いの家共催)	①・②	4回	20人
	クラシックサロン～楽に寄す～ (定期講座・憩いの家共催)	①・②	4回	20人
	動画（ムービー）講座 (定期講座・憩いの家共催)	①・②・③	一回	一人
	和菓子教室 (定期講座・憩いの家共催)	①・②	3回	15人
	パン教室 (定期講座・憩いの家共催)	①・②	1回	16人
	車大好き～第2弾～ (定期講座・憩いの家共催)	①・②	一回	一人
団体育成 (4)	本格中華料理教室 (定期講座・憩いの家共催)	①・②	4回	16人
	藍染教室	①・②	1回	32人

## (2) 講座以外に行う事業

- ・地域懇談会（利用団体連絡会総会）
- ・センターフェスティバル（憩いの家・児童館共催）
- ・コミュニティサロン ふらっと（憩いの家・児童館共催）
- ・漢字検定（児童館・憩いの家共催）
- ・白井市第5次総合計画拠点創造プロジェクト  
「白井駅前ミュージックフェア ～輪音（わおん）～」  
（児童館・憩いの家共催）
- ・駅前ボランティア（憩いの家・児童館共催）
- ・コミュニティファンド～駅前ファンド～（憩いの家・児童館共催）

## (3) 情報の提供

- ・センターだより・子育て通信・ブログ掲載・自主事業ポスター掲示
- ・地域情報掲載 ・利用者の活動ポスター掲示

## (4) 施設の提供

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供

# 平成30年度 桜台公民館 事業計画

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）  
「ときめきと みどりあふれる 快活都市」
- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）
  - 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」
    - ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
    - ・子育てしたくなるまちづくり
  - 戦略2 「みどり活用プロジェクト」
    - ・みどりが価値を生み出すまちづくり
    - ・みどりがつながるまちづくり
  - 戦略3 「拠点創造プロジェクト」
    - ・地域拠点がにぎわうまちづくり
    - ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・地域団体や自治会の連携が薄い
- ・一小学校一中学校であるため、子ども達の交流が限られている

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・高校生、大学生との連携がとれていない
- ・中学生向けの講座に応募がない
- ・働く世代向けの講座に応募が少ない
- ・センターに来たことの無い人をいかに呼び込むか

## 2. 運営方針

### 平成30年度 桜台公民館 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

年間テーマ【～絆をつなぐ～交流を広げ地域で支え合う場に】

- ・地域拠点としての役割を果たし、学校、団体、PTA、自治会などと共に互いに成長しあえるネットワークづくりを行う

## (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①保護者が家庭において行う子育てや教育について学ぶ機会や場を提供する。 ②親子の学びや育ちを地域で支援し、子育てによる閉塞感を緩和する。 ③同世代の子供を持つ親、同世代の子供達の出会いと交流の場を図る。
青少年教育 (2)	①へこたれない力、生きる力をつけるための体験、活動、学習などの機会を提供する。 ②異年齢、異学区の交流の機会を提供し、社会性を養う。 ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する。
成人教育 (3)	①さまざまな趣味や学習などを通じて、自己実現の機会を提供する。 ②適度な運動を行うことで、加齢などによる能力低下を予防する。 ③社会変化に対応するための知識を得る機会を提供する。 ④趣味などを通じた仲間づくりを支援する。
団体育成 (4)	①地域活動団体の活動場所や機会を提供する。 ②講座から自主サークルへの移行を目指した講座運営を行う。

## (3) 平成30年度 特に重点的に実施していく項目 (分野や事業など)

- ・地域の拠点として、地域団体の「連携」を深め、その活動をサポートする。
- ・地域で青少年の健全育成を支援する。

## 3. 桜台公民館 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	募集人数
家庭教育 (1)	子育てサロン「ママ倶楽部」 【定期講座】【児童館と合同】	①・②・③	5回	12人
	赤ちゃん広場「いちご組」 【定期講座】【児童館と合同】	①・②・③	10回	15組
青少年教育 (2)	さくらだいクラブ ～白井探検隊～【児童館と合同】	①・②	5回	12人
	学ぶkidsシリーズ 【児童館と合同】	①・②・③	3回	各15人
	さくセンこども企画部 【児童館と合同】	①・②	6回	8人

	学ぶ kids 「さくせん合宿～ナイト ウォーク～」 【青少年相談員、児童館と合同】	①・②・③	1回	20人
成人教育 (3)	デジタル講座	①・③	3回	10人
	白井散策倶楽部	①・②・④	2回	10人
	男のオフタイム講座	①・②・④	2回	10人
	リフレッシュ倶楽部	①・②・④	3回	8人
	大人の学び講座	①・③・④	3回	20人
	女のアフター7講座	①・③・④	3回	10人
団体育成 (4)	なろう！地域サポーター	①・②	5回	10人

## (2) 講座以外に行う事業

- ・桜台センター利用者連絡会
- ・さくセンフェスタ実行委員会
- ・さくセンフェスタ
- ・ちょこっとティータイム (ティーサロン)
- ・ケンズカフェ (音楽喫茶)

## (3) 情報の提供

- ・センターで実施する講座の情報提供  
(広報しろい、ホームページ、facebook ページ、ブログ、さくセン通信、児童館だより)  
「さくセン通信」を桜台小中学校から児童数配布、市内各センター、行政施設等に設置
- ・桜台中学校区自治会に回覧

## (4) 施設の提供

- ・市民に平等、公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域の拠点となる場所の提供

# 平成30年度 学習等供用施設 事業計画

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）  
「ときめきと みどりあふれる 快活都市」
- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）
  - 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」
    - ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
    - ・子育てしたくなるまちづくり
  - 戦略2 「みどり活用プロジェクト」
    - ・みどりが価値を生み出すまちづくり
    - ・みどりがつながるまちづくり
  - 戦略3 「拠点創造プロジェクト」
    - ・地域拠点がにぎわうまちづくり
    - ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

高齢化、団塊の世代、核家族化などの地域のつながりが薄れている。

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

中間層の参加者が少ない。

## 2. 運営方針

平成30年度 学習等供用施設 運営方針

### (1) 全体の運営方針

世代を超えた人と人との交流と支え合いを育む。

## (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①各家庭で抱える悩みや不安等を気軽に話し合える場を作る。(つどう) ②地域の保護者同士の明るく円滑な交流と連帯を目指す。(つどう) ③行事を通じて親子のコミュニケーションを深める。(むすぶ)
青少年教育 (2)	①小学生から高校生までの子ども達による地域交流の場を広げる。(むすぶ) ②子供達の自主的な活動を押し進め、互いの思いやりとの協力の気持ちを育む。(つどう)
成人教育 (3)	①より多くの地域住民が参加できる機会を提供し、高齢者を巻き込んだ地域の横のつながりを深める。(つくる) ②世代を超えた生涯学習の環境作りを進める。(つくる) ③緑のある住環境の保持と推進をはかる。(さがす)
団体育成 (4)	①サークル活動をサポートし、各団体の連帯を深める。(まなぶ) ②サークル団体、ボランティア団体との交流を推進し、地域福祉を充実させる。(むすぶ)

## (3) 平成30年度 特に重点的に実施していく項目 (分野や事業など)

### 3. 学習等供用施設 講座等実施計画

#### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	募集人数
家庭教育 (1)	ベビー&キッズお話し会	① ② ③	1回 定員無し
	リズムベビーマッサージ	①・② ③	2回 各10組
	離乳食作り	②・③	1回 10組
	ほめ上手でぐんぐん子育て	①・②・③	1回 定員無し
	親子教室「いちごクラブ」	①・②・③	10回 40組
	みるく	①・②・③	8回 定員無し
青少年教育 (2)	クリスマス小物作り	②	1回 20人
	子どもクッキング	①	1回 16人
	親子でお抹茶の会	①	1回 10組
	通学合宿	①・②	1回 20人
	夏休みゴーゴーチャレンジ	②	3回 各20人
成人教育 (3)	家庭菜園芸教室	①・③	2回 各20人
	男性料理教室	①・②	1回 16人
	ランチクッキング	①・②	3回 各16人
	初心者囲碁教室	①・②	9回 各10人

	シニア・スマートフォン講座	①・②	4回	各30人
	救命救急講座	①・②	1回	30人
	そば打ち教室	①・②	1回	15人
	門松づくり教室	①・②	1回	10人
	ボディーメイキング講座 (ヨガ・ラテンエアロビクス・ タイ古式)	①・②	3回	各15人
	オリジナルアロマ作り教室	①・②	1回	10人
	筋力能力認知予防講座	①・②	7回	各20人
	初心者茶道教室	①・②	7回	各10人
団体育成 (4)	しろい楽トレ体操教室	①・②	38回	各20人
	世代間交流	①・②	1回	定員無し

## (2) 講座以外に行う事業

- ・ハロウィン
- ・クリスマス会
- ・電車ミニカー&おままごと遊び
- ・ぬり絵コンテスト
- ・幼児おもちゃ解放
- ・センターフェスティバル
- ・美化交流
- ・富士センター音楽祭

## (3) 情報の提供

- ・センターだより
- ・広報紙
- ・児童ルームだより
- ・他館へのポスター掲示
- ・地域へのチラシ配布
- ・近隣店舗ポスター掲示
- ・ホームページ掲載

## (4) 施設の提供

- ・地域の会合や話し合いの場としての施設提供や施設備品等の貸し出しをする。
- ・近隣団体と当施設による合同事業を行い、地域交流の場を提供する。

# 平成30年度 青少年女性センター 事業計画

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

### 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

### 戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・ニュータウン地区と旧地区の交わる地域なため、住民同士の考え方や生活スタイルも違いがあり、交わるのが難しい

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・男女共同参画の推進を前面に打ち出した講座や事業では、参加者数が少なく、興味・関心のある趣味的講座の参加に偏りがちになってしまう。

## 2. 運営方針

### 平成30年度 青少年女性センター 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

- ・男女共同参画の推進と地域の交流

#### (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て世代が交流し悩みや不安を解消出来る機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を進める。

青少年教育 (2)	①市内の小学生を対象に、交流の場を設け仲間作りを推進する。 ②市内の小学生を対象に、体験を通して学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にも繋がる体験学習の場を提供する。 ④子供の自立と家事参加を応援する。
成人教育 (3)	①再就職を目指す女性にスキルアップやキャリアアップのための学習ができる機会をつくる。 ②自立が困難な母子家庭の母親やDV被害者の女性を優先し自立支援を行う。 ③人とのコミュニケーションが苦手等働きづらさに悩む若い女性居場づくり。 ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性のための生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、学ぶコミュニティーの場を提供する。
団体育成 (4)	①学習成果の発表の場を提供し、団体活動を支援する。 ②対人関係が苦手の中々社会進出できない若い女性の自助グループを、外に出る機会を与え社会参加の機会を提供する。

### (3) 平成30年度 特に重点的に実施していく項目 (分野や事業など)

- ・地域住民が集う場を提供すること、市民との連携事業

## 3. 青少年女性センター 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	募集人数
家庭教育 (1)	子育て支援講座 (ハッピースマイル術)	①・②	3回	各15人
	おやこ体験講座 (おやこチャレンジ)	③	6回	各10組
青少年教育 (2)	中高生向け体験学習	③	1回	15人
	小学生向け体験学習 (わらべの集い)	①	1回	30人
	小学生向け体験学習 (キッチンサイエンス)	②	1回	20人
	小学生向け体験学習 (おうちシェフ)	④	6回	各12人
成人教育 (3)	女性支援講座 (ストレスフリーライフ講座)	⑤	3回	各15人
	再就職支援講座 (パソコン講座)	①・②	10回	10人
	女性支援講座 (起業講座)	④	4回	各15人

団体育成 (4)	合同事業やイベントでの成果発表 自助グループの育成	① ②		
-------------	------------------------------	--------	--	--

## (2) 講座以外に行う事業

- ①ふくしまつりの開催（サークルの成果発表の場）
- ②こどもまつりの開催（世代間交流の場）
- ③季節に合ったイベントの開催年6回  
（就労継続支援 B 型事業所みのりとの合同事業）
- ④自助グループ『パステル』の活動支援
- ⑤コミュニティーサロン『清戸の杜プチマルシェ』の開催
- ⑥白井フェミナス♥+（ハートプラス）の開催
- ⑦居場所づくり『こころの Cafe』の開催年10回

## (3) 情報の提供

講座・行事（イベント）情報は、広報しろい、社協しろい、HP、facebook ページにて情報提供。  
 各講座チラシを作成し、近隣スーパーや関係機関に配布、掲示。  
 情報誌『清戸の杜』の発行（年12回）  
 就労に関する情報提供を2階ロビーにて案内

## (4) 施設の提供

団体活動の発表や展示等活動への協力を行う